

Azalea

アゼリア

特集

期待してま
男性ニューパワー



特集

期待してます
男性ニューパワー

もつといきいき
もつとめびめび

豊かな人生の実現に何が必要ですか
経済的に、身体的に、そして精神的に。
女性と男性の間に差があっては
ならないことです。
「...らしく」の名のもとに
我慢をしていることはありませんか
ごいっしょに考えてみたくて、
この特集を組みました。

「...らしく」の呪縛からの解放



アゼリアさん

vol. 4

田島 加代子

母子福祉資金貸付金

平成8年4月1日から適用

貸付金の種類	内 容	限 度 額	償還期間	利 子
事業開始資金	事業を始めるのに必要な設備費、什器、機械等の購入資金	266万円	7年	年3%
事業継続資金	現在営んでいる事業を継続するために必要な商品材料等を購入する運転資金	129万円	7年	年3%
修学資金	高校、短大、大学、高専又は専修学校に就学させるために必要な資金	学年別各種月額13,000円〜57,000円	20年 専修学校の一般課程は5年	無利子
就学支度資金	小中学校、高校、大学及び技能習得施設の入学、入所に要する資金	種類別 38,500円〜230,000円 公立の大学、短期大学等へ入学する場合は38,000円 私立の大学、短期大学等へ入学する場合は380,000円	20年 専修学校の一般課程は5年	無利子
修学資金	児童に事業を開始し又は就職に必要な技能を習得させるために要する資金	習得期間中月額26,000円	6年	無利子又は3%
就職支度資金	就職するために直接必要な被服、履物等の購入資金	95,000円	6年	年3%
住宅資金	自己所有の住宅の建設、購入及び現に居住する住宅の増改築・補修又は安全に必要な資金	140万円 特別の場合200万円	6年 7年	年3%
転宅資金	転居に必要な敷金等に要する資金	250,000円	3年	年3%
療養資金	医療を受けるために必要な資金	250,000円	5年	無利子
技能習得資金	事業を開始し又は就職するために必要な知識技能を習得するための資金	習得期間中月額26,000円	10年	年3%
生活資金	療養資金、技能習得資金の貸付期間中、生活を維持するために必要な資金	月額100,000円	10年 又は5年	年3%
結婚資金	児童の婚姻に際し必要な資金	280,000円	5年	年3%
児童扶養資金	児童の扶養に必要な資金(児童扶養手当の支給制限を受けた方)	月額13,700円	10年	無利子



北区役所
高齢福祉部
福祉推進課 援護係
TEL (3908) 1111
内線3814

特集

期待してます
男性ニューパワー



山田昌弘(司会)
上十条5丁目在住
東京学芸大助教授

佐藤 栄
中里2丁目在住
同居者 妻

マンフレッド・ライジック
西ヶ原1丁目在住
同居者 妻・子1人

出席者

山田 でも、日本の男性の多くが朝から晩まで仕事をして、そういう人に手伝えと言ってもなかなか出来ない状況といえますが、マンフレッドさんのお仕事はどうですか。

マンフレッド 建築・造園・リフォームの仕事をしています。クタクタになって帰宅することが多いですが、それでも妻が仕事のとときは私が料理をします。やっぱり最初の発想そのものが(家事を人任せにする人と)違うんじゃないかな。でも、料理以外の家事は、特に洗濯とアイロン掛けは、大変。洗濯ものは縮むことがあるしね。

山田 仕事でいろいろな家に行くけれど、専業主婦の人は洗濯する時間があるのにクリーニング店をよく利用する。買い物にも時間をかけるし、もったいないと思うことが多いですね。

山田 私が調査したもので、20代で親と同居している子どもが家事をしている割合が10〜20%、男性も女性も。つまり日本は親がやってしまう。20歳ぐらいになっても家に居る限り、母親が息子にも娘にも家事をやってしまっている。

佐藤 進学の問題とか、関係ありますかね。

山田 それも、大部分が学校を出ても、なんですね。

佐藤 それが習慣になってしまうのでしょうか。

マンフレッド ドイツでは、もう小さい頃から



山田 北区の女性白書にもあるように、夫が妻に過剰な負担をかけるのを当然だと思いう傾向があります。家族である以上、生活責任は、わかち合わなくてはならないでしょう。これからの課題としてみながら考えていきたいと思います。

山田 それは、女性側にも言えることですが、では、今日はこのへんで…。

遅くまで有難うございました。

山田 自分の部屋の掃除は自分ですとか、子どもにも役割があります。

佐藤 その人の自覚によるからね。男だから何で料理しなきゃいけないのかとか、そんなことを考えていたんじゃないかな、だめだよ。私は、何の抵抗もないから、基本的には妻と縁あって一緒にあったんだから、最善を尽くしてあげたいと思いますね。

マンフレッド 男の人も家事をするように自分の家でホームパーティーを開くといいですね。家が汚れていれば、恥ずかしいからみんなで掃除するし。

山田 人間はハッピーになるために生きていると思うから、男だから女だからと言うことは無いと思う。

佐藤 うちの息子も仕事が忙しいらしいけれど、孫に料理を作るようですよ。

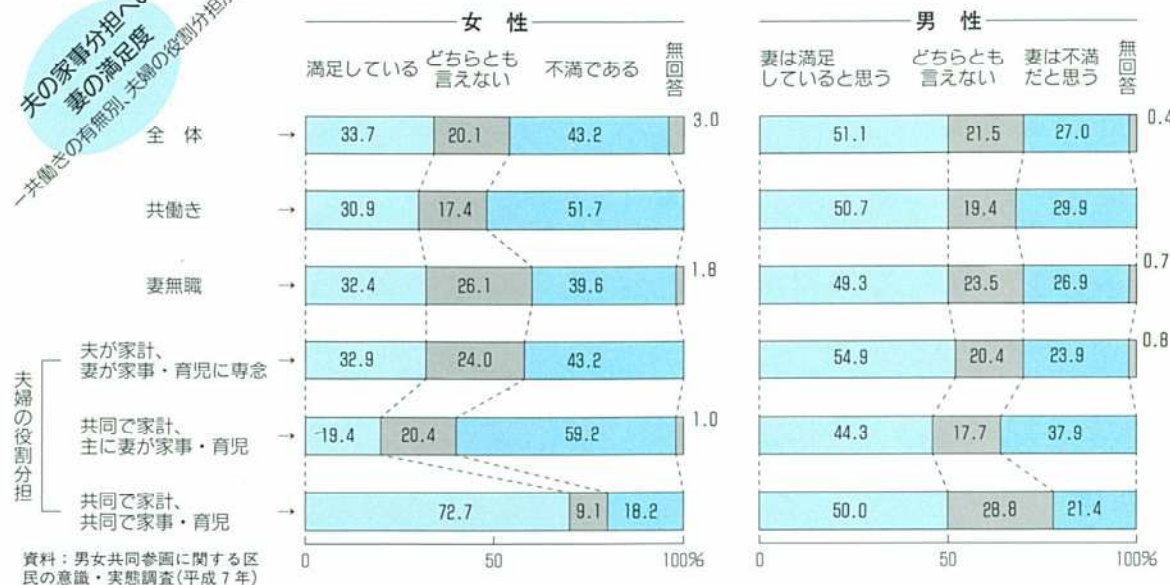
山田 これから家事を始めようとする男性への助言とか忠告がありますか。家事を単にやるというのと、責任を持ってやるというのとまったく違いますから。

佐藤 私の場合は、責任感と考えた訳では無かったですけれど、誰かがやらなければ食べられないからね。

山田 私は、今だいぶ良くなっていますけれど、私が料理作ることになっちゃってるから、店のものより、おいしいって言ってますよ。

家事分担

夫の家事分担への妻の満足度
共働きの有無別・夫婦の役割分担別



夫の家事分担に対する妻の満足度は33.7%。共働きや妻が無職の場合でも、ほとんど同じです。さらに、「共同で家計、主に妻が家事・育児」を行なっている夫婦の場合をみると、59.2%の妻が夫の家事分担に不満をもっています。また、妻が自分の家事分担に満足していると思っている夫は51.1%にのぼり、妻の満足度(33.7%)との落差に驚かされます。

男性 家事を語る

上の表にもみられるように男性の家事への参加はまだだ。どこかに家事をする男性はいないのか？ さがしてみたら…

山田 ステキな男性たちが

山田 こんばんは。今日は、男性の家事について、お話ししていきたいと思っています。最初にお名前と、家事歴などを聞かせてください。

佐藤 佐藤栄と申します。

山田 家事を始めて、だいたい21年、きつかけといいますが、家内がちよつと身体が弱かったものですから、もう家事をほとんど、一切、私がやっていますね。

山田 お仕事は何をなさっているんですか。

佐藤 2年ほど前まで自営業をしていました。

山田 では、マンフレッドさんはいかがですか。

マンフレッド こんばんは。マンフレッド・ライジックです。



ドイツでは、男性が料理を作ることは普通のことなんでしょうか。

マンフレッド 相手ができない場合は、習慣的にサツと代わられる、しつけの問題じゃないかな。子どもの時から自立できるように育てられているから。

佐藤 日本の男の人でも自分で食べなきゃいけないような状況に長くいたひとは、結構スーとできるでしょう。軍隊経験がこんなところで役に立つとは思いませんでした。

山田 私が学生のころに母親が倒れまして、その時から私と父親とで分担して全部やるようになったんですが、趣味的に家事をやるのと、責任を持ってやるのではぜんぜん違いますね。

佐藤 私の場合は、責任感と考えた訳では無かったですけれど、誰かがやらなければ食べられないからね。

山田 私は、今だいぶ良くなっていますけれど、私が料理作ることになっちゃってるから、店のものより、おいしいって言ってますよ。

【介護】

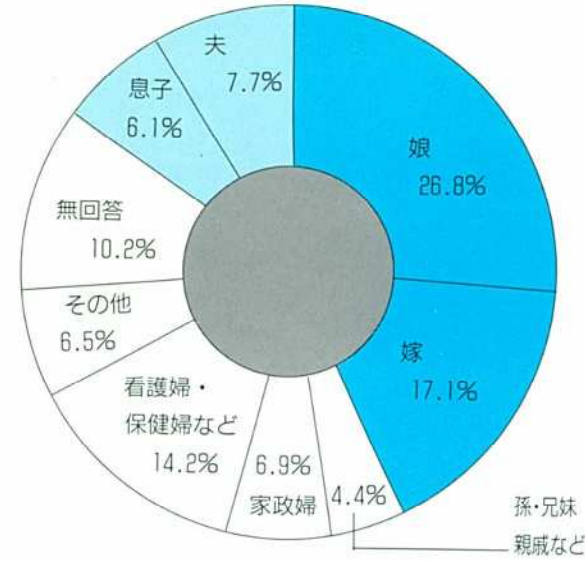
介護の主な担い手は依然として大部分が女性です。妻、嫁、娘……。考えてみれば、看護婦さんやヘルパーさんも女性ですね。しかし、グラフにもみえるように、少しずつ男性が介護の場に参加しつつあります。

男性が介護を引き受けた時、どのようになるのでしょうか？区内で実際に介護をしている男性にお話を聞きました。

志茂にお住まいの中沢喜八郎さんとと志さんはともに70代の二人暮らし。喜八郎さんは心臓の病気を抱えながら、訪問保健指導やヘルパーさんをはじめ、さまざまな区の福祉サービスを活用して、をと志さんを看ています。

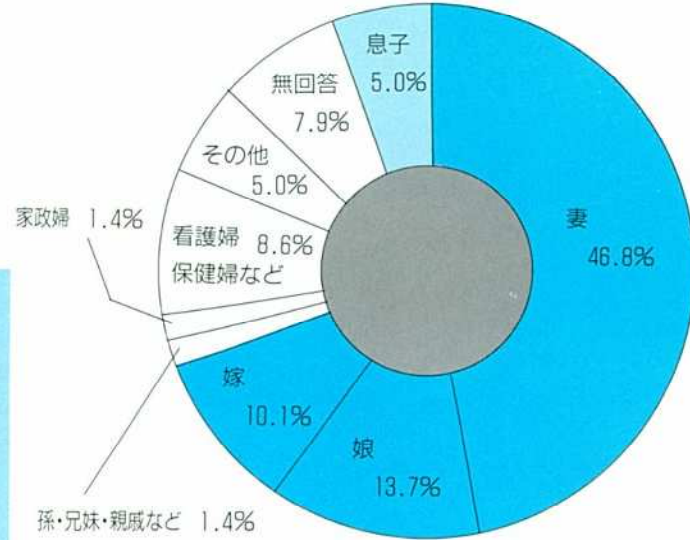
男性の介護

介護者の状況
ねたきり高齢者が『女性』の場合



北区高齢者生活実態意向調査から（平成7年9月調査実施）

介護者の状況
ねたきり高齢者が『男性』の場合



特集 期待してます 男性ニューパワー



「無我夢中でやっている」一日。その大半は、をと志さんと二人だけで過ごします。体に管がついているため、をと志さんにはショートステイ（介護が必要な人を施設や病院で短期間預かってもらう福祉サービス）を利用することができず、在宅介護を続けるかぎり、喜八郎さんには一日の休みもありません。誰かとお茶を一緒に飲んで世間話でもして……そんな何気ない時間もなくなりました。

「苦勞をかけたから」とつぶやいて、ベッドの上のをと志さんを気遣う様子からは、喜八郎さんのをと志さんへの気持ちが伝わってきました。

取材を終えて
介護者の生活

核家族化が進み高齢者だけの世帯が増え続けていくなかで、身近に代わる人の少ない（いない）重い責任を負った介護者は、今後ますます多くなると思われます。

調査によると、①外出できなくなった ②自分の時間がなくなった ③疲労がたまり健康に影響が出ている ④いらいらするようになった ⑤経済的な負担が重くなったなど、介護者は日常生活に生じるさまざまな問題を抱えています。

介護者の意識

外出もできず、自分の時間もない状況は、介護を自ら望んでやっている介護者であっても、長期にわたればその精神的な負担はとてつもないものです。



妻が突然倒れて

をと志さんが突発性高血圧で倒れたのは、昨年の5月。自宅からの救急入院。一度は退院したものの、7月には脳溢血で2度目の入院。生死の境をさまよう容態からなんとか小康を得ましたが、その後は寝たきりの病院生活が続いていました。

自分が看るようになると思わなかった

「私は家のことは何にもやらなかったね」自分の方が看てもらえるかなって思ってたし」と話す喜八郎さんですが、すでに8年ほど前から、痴呆の症状が始めたをと志さんを世話してきました。そして今回の入院です。

病院へをと志さんを見舞う毎日の中で、自分も心筋梗塞で2カ月の入院。今年の2月半ばに退院し、その後間もなく、をと志さんを自宅へ連れ帰りました。

食事の時くらい、誰か一緒にいてくれたらと思うよ

診療所の看護婦さんに教えてもらい、手続きをしたので、看護婦さん、ヘルパーさんが派遣されるようになりました。仕事を持つ娘さんは、喜八郎さんの通院の日には休みを取って留守番。夜、仕事場から戻ると、おむつの交換に来てくれます。また、週に一度、ボランティアがをと志さんに紙芝居を見せてくれます。

先日、50代の主婦から「嫁として70代の姑の介護をしても、どうするかを決めるのは夫とその兄弟で、実際に看るのは自分一人だ」という話を聞きました。介護は当然嫁の役割とされ、自分の考えを持つことも許されぬ状況で担う介護と、喜八郎さんの主体的に介護をしている姿との間に、大きな隔たりを感じました。

自分のする介護を自分で考え、アレンジしていくことが、介護者自身の力になることと思えます。

福祉サービス

家族全員で担っても、手にあることはあります。そんな時、福祉サービスは頼もしい「助っ人」です。周りの人のアドバイスを受けながら、うまく使いこなしている中沢さんの例にならって、まずは窓口で相談をしてみることをお薦めします。

福祉なんでも相談室 ☎（3900）1294
在宅介護支援センター
☎（3558）3689、（5390）6009

これから

介護保険制度の導入など新しい試みが議論されています。介護をとりまく状況はこれからは変わっていくでしょう。そうした中でも私たちのできることから、とにかく始めることを、今回の取材で教えられました。

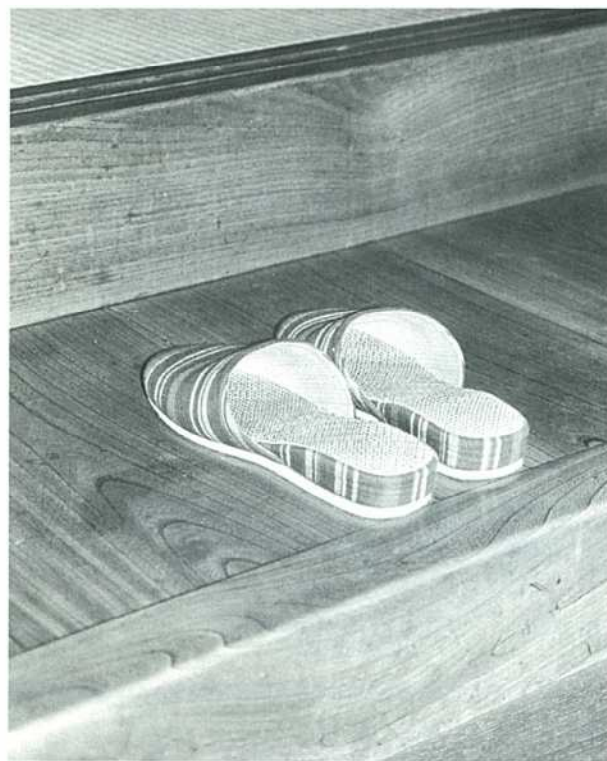
従来の固定観念にとらわれず、①家族全員がそれぞれの役割を引き受ける ②家族だけで抱え込まずに福祉サービスを活用する ③その時の状況に応じて施設、病院を利用する ④介護者自身の健康や気持ちも視野に入れた選択をするなど、問口の広い取り組みと、それを支える自分自身の意識の転換が、その第一歩かもしれません。

【家庭教育】

介護・家事を担う男性たちをご紹介します。
 こういふ男性がふえてくれれば女性も安心して
 できるのだけれど…。
 話を聞いてみるとカギは若いころからの過
 ごし方にあるようです。
 やらなくてすむなら介護・家事などやりた
 くないという男性。
 ともに担ってほしい女性。
 このギャップはなにが原因で、どうしたら
 なくせるのでしょうか？
 編集委員が体験をもとに考えてみました。

家庭の中から

しなやかな変化



たかがスリッパ、されどスリッパ

無意識の優遇

こどもの頃、父が帰宅すると家族が出迎え、スリッパをそろえて出していました。それをしないと祖母が怒るのです。今でもお迎え自体はあちこちの家庭でおこなわれているほほえましい光景でしょう。ただ、我が家ではスリッパまでそろえて出迎えられるのは、お客様か父に限られていて、ほかの家族にはそんな待遇はありませんでした。ご飯をよそうのも父の茶碗が先、お風呂も父が最初で母はしまい風呂と、ふだんの生活の中にきっちりとした秩序がありました。まあ、どこのお宅でも大なり小なりそうした秩序はあったと思います。私はそれを当たり前と思って育ちまし

た。
 思春期に、そうした雰囲気が発見し、わざとスリッパをそろえなかったことがあります。すると祖母に叱られ、あげくの果てには母が祖母に「あなたのしつけが悪い」とせめられる始末。母は「ささいなことなんだし、そろえてしまったほうが面倒がないからやりなさい。疲れて帰ってきた人への思いやりというものよ」と私をさとしました。母は思いやりからスリッパをそろえていても、祖母はどうも思いやりプラス上下関係でやっているような気がしました。そして私は家の中に波風をたてないためにスリッパをそろえました。
 当の父は祖母が旅行などで留守の時は自分でスリッパを出してサッサと入っていました。これっていったい…。

お嫁さんする？

無意識のブレイキ

結婚して、夫の実家に行ったとき、なんとなんと身体が自然に「お嫁さん」をしてしまうではありませんか！ご飯をよそう順は義父、夫、義母、私。残りご飯は私の担当。お風呂もしまい風呂と。小さい時からの習慣はおそろしい。

そしてスリッパは？ 夫の家は和室が多くてスリッパはなかった。スリッパをそろえなくていい。何という解放感！何だか天井が高くなったような気がしました。その他のかせも取り払ってみたらせいせいするだろうなあ…と思いました。

ささいなことに目くららたてていたら世の中ギスギスするよ、女性のたしなみやないか、日本のゆかしい伝統はどうなる、という人は必ずいるでしょう。表面上男性をたて続けて、

何事もないうちはいいでしょう。いざという時に「たてまえ」がドンと立ちほだかるような気がします。

いざという時

無意識のツケ

祖母が入院中に母の弟が亡くなったことがあります。祖母の面倒は孫の私がみて、父と母は葬儀に行きました。父が一足先に帰ってきましたが、母は兄弟姉妹で故人をしのびたいからと帰宅をのばしました。父は「いい気なもんだ」というのです。祖母は病院にいて私に通っているのに特に不便はないのに…。いつも自分たちが優先されるのに慣れているから母が母自身の都合をおそうとすると腹がたつたらしいのです。

スリッパに象徴されるように家庭の中で母が父にいつも譲っていると、それが習慣となり、いつしか当然とみなされ、大事な時に母の都合を通そうとすると非難されることになってしまったのです。ふだんなにげなくやっている日本の美德がつもりもつって女性軽視につながっていることもありま

す。男性をたてるという日本の美德をやめるといつているではありません。やってあげている方は思いやりと思っても、受け手が「あつたりまえ」と感じていたら何にもならない。不毛です。無償の愛にも相手の態度いかんによっては限りがあると思うのは未熟なの

では、どうすればいいのか？

鉄は熱いうちに…

私が夫の実家で「お嫁さん」を演じてしま



今、子どもを育てている、これから産み育てようとしている皆さん、子育ての中で一方の性を優先することなしに男女ともに人間として平等に育ててみませんか。しなやかに、したたかに、確信をもって…。
 するとそこから変わり、未来が拓けていくと思うのです。



岡本喜久子さん
西ヶ原1丁目在住

歩いてきた道

記憶をたどって



今回は個人で自分史を綴り、昨年小冊子にまとめた女性を訪ねました。岡本さんは大正3年10月31日、東京生まれ。これまで、知人や家族にもあまり語らずにきた戦争中のことについて、自分の体験を、子や孫たちのために書き残しておこうと思い、自分史のペンを執りました。

夫の宍召

予期していたとはいえず、その日は突然訪れました。昭和16年7月26日。「臨時公用。28日、朝までに帰れ」大阪にある、夫武雄さんの実家からの電報が召集を知らせました。結婚して3年目。2人の子どもに恵まれ、3人目がお腹の中にある岡本さんは、必要最小限の旅仕度を整え、仕事先から帰宅する武雄さんを待ちます。普段から武雄さんは、子どもの将来の進路については細かく岡本さんに話していたそう。出発は慌ただしく、髭をそる武雄さんとかわした会話は短いものでした。一時期のような派手な見送りはしないように、という触れがこの頃には既に滲透して、静かな見送りになりました。

満州へ

夫が出征した年の秋、岡本さんは東京の住まいをたたくて、子どもと共に大阪の夫の実家に移ります。医者である武雄さんは堺市の陸軍病院、ハルビン、そしてハイラル陸軍病院と転動して行きました。昭和19年、家族を迎えに一時帰国した武雄さんと一緒に、岡本さんは5歳を頭に3人の子どもを連れて下関から乗船し、釜山、ハルビン、ハイラルと前線近くまで行きました。ハイラルの官舎での暮らしは、国内にいた時よりは食糧事情に恵まれ、零下30度まで下がる極寒の厳しささえ除けば、内地よりは多少居心地が良いと感じたそうです。翌20年7月20日には次男が生まれました。

ました。

しかし、8月9日ソ連の参戦が伝わると同時に空襲が始まり、それまでの平和な生活は一変してしまいます。昨日まで、まき割りや力仕事を手伝いに来ていた兵卒が、今日は伝令となって一軒一軒、手回り品を持って病院の庭に集まるように」と声をからして走り回っています。岡本さんは、家にあるだけのお米や小麦粉を使って、夢中で当座の食糧を準備しました。——しかしこうして作った食糧も、奉天へ向けての避難の途中で手放す結果になりました。トラック、列車と乗り替えて、総勢60名ほどの留守家族と共に逃げる最中、ジャラントンの手前で列車が脱線し、仕方なく皆降りて、真暗な道を、足もとの2本のレールに添って歩くことになったのです。すべての荷物は列車に残し、誰もが身一つになっての引揚げでした。

喉が乾き、足がもつれ、子どもが泣き出し、「誰か穴に落ちた!」の声にも、我が子の無事を確かめればそのまま歩き出す人々の群れ。その中に居て、岡本さんは、2人の子どもを先に歩かせ、次女の手を引いて、背中には生まれて1カ月にも満たない次男をおぶって黙々と歩き続けました。目立たないように、昼よりは夜の間に長く歩きました。ひもじさと疲労から、子どもを殺して自分も死のうと包帯を取り出す姿もあれば、追い抜いていく日本兵から目を輝かせて金平糖を受け取る子どもの姿もありました。

敗戦國民として

ハイラルから一緒に逃げた来た人達の中には途中で亡くなった人も数人いて、鉄嶺陸軍病院官舎で当番制の共同自炊を始めたのは、50人程でした。た

記憶をたどって

後日、ハイラルから逃げて来る途中で、脱線した列車を降りて歩いた距離を地図の上で測ったら、80キロにもなることが解りました。3人の幼児、そして乳児を抱えての引揚げは、誰もが同じ状況にあったからできたことだったと岡本さんは感慨深いです。しかし、今ではこの間の記憶が子どもたちの脳裏からはすっかり消えてしまっていることもまた事実です。

現在岡本さんは、長女夫妻と同じ棟に住んでいて、外出する時はいつも一緒だそうです。周囲には常に人が集まり、母校の同窓会の理事をはじめ、戦争中助け合った仲間や夫の友人たちとの年一回の会合、また2男2女の子どもの家族たちとの楽しい交わりが、今の生甲斐だそう。

こうした中で、昨年出版した白5判47頁の自分史は、赤い表紙に「戦後50年に寄せて」と副題がつけられています。岡本さんは、「この本は先ず、亡くなった夫(昭和63年没)」に読んで欲しかったですね」と言って話を結びました。

個人の歴史

学校で学んだ歴史の内容からは欠落していた部分に、それを埋めて余りある膨大な数の庶民史が個々にあるというのを知りました。そして、それは体験した人々にとって忘れ難い記憶として残っていることも再認識しました。誰でも、どの時代に生まれても、それはその人の意味のある人生です。ここに紹介した岡本さんの記事が、そうした一人ひとりの人生を自分史として綴るきっかけになれば素晴らしいと思います。

びたびソ連兵がやって来ては、時計や指輪、万年筆など高価なものを持って行ってしまいます。されるまま、ただ黙って見ているしかありませんでした。安く仕入れた万頭やお餅を、交代で街に売りに出たり、毛布でオーパーや足袋を作ったりは食べ物と取り換えたりと、かく子どもたちの口に入る物を手に入れることだけを考える日々でした。12月に入り、官舎に居た全員が奉天へ移動しましたが、着いてすぐに、「夫が配属先で入院した」という連絡が届きました。武雄さんはやせて別人のようだったそうです。岡本さんは、今まで以上に食糧を手に入れるための努力をし、武雄さんの病室へ運ぶ毎日が始まりました。

引き揚げへ

年が明けて、昭和21年1月には武雄さんが退院し、4月には日本へ引き揚げができるという知らせが伝わりました。家族6人、奉天の駅でまたソ連兵の検閲にあい、次男のために持っていたミルクの缶もすっかり差し出さねばなりません。列車で壺蘆島(現葫蘆島)まで行き、乗船の順を待つ間、倉庫で皆座ったまま泊りましたが、これで日本へ帰れるのだと思うと、空腹ではあっても子どもを励ます声に力が入りました。

4日目に乗った引揚船の中はゴザ敷きだったので、やっと足が伸ばせ、そして配られた粟のおじやが何より嬉しい御馳走でした。夜明けに汽笛が鳴り、それが、折角乗った引揚船の中で亡くなった人の水葬の合図だと知り、その日の日、岡本さん一家の乗った引揚船は無事舞鶴港に着岸しました。(厚生省引揚援護局が把握した外地からの引揚者数は、軍人、軍属が約21万人、一般人が約20万人となっています)

'97北区女性週間

平成9年2月22日(土)～28日(金)

今年度の女性週間は、来年2月に開催。アゼリアプラネットまつりもこの期間にあわせて開催します。まつりで、活動発表や展示をしたい、ワークショップなどをやってみたいという方は、アゼリアプラネットまつり実行委員会まで。(締切り10月末日)お問い合わせはアゼリアプラネット ☎3913-0161

'97北区女性週間予定 平成9年2月						
日	22(土)	23日	24日	25(日)	26(月)	27(火)
内容	アゼリアプラネットまつり	講演会	北区女性のアーティスト展	北とびあつつじホールイベント		
会場	アゼリアプラネット(女性センター)		北とびあ展示ホール			

ただいま
好評発売中!



「田端文士・芸術家村と女たち」
—もうひとつの北区史—
調査から執筆まで、女性区民による初の北区女性史。豊富な資料や写真も魅力です。
お求めは書店または区役所区政資料室で。定価1,236円

“アゼリアプラネット”ってご存じですか?

アゼリアは北区の花「つつじ」、プラネットは惑星を意味する女性センターの愛称です。「男女共同参画社会をめざす行動計画」北区アゼリアプランを推進する拠点(星)としての願いを込め、平成5年に命名しました。

1階のロビーでは、3～4人のミーティングはいつでもOK。情報コーナーには約2,000冊の蔵書と雑誌、資料等があり、貸出も行っていきます。

どうぞ、お気軽にご利用ください。

*プロジェクト・チーム発足

男女共同参画を進めるための拠点施設はどうあるべきか、公募委員等によるプロジェクト・チームで検討していきます。これから、区民の方々の意見を聞く会等を開催し、平成9年9月に検討結果をまとめます。センターについてのご意見、ご要望をお寄せください。



編集後記

いよいよ私にとっての第1号の「アゼリア」ができていきます。今までと違う事、何にでも挑戦してみたいという思いから編集委員のお仲間に入れていただきました。編集会議で活発な意見を述べあう経験豊富な編集委員の方々に支えられながらの毎日でした。何も分からず飛び込んだ世界、インタビュアー、取材。一つひとつが目新しい事は、まだまだ未熟な私ですが一生懸命学んで皆様に喜んでいただけるような「アゼリア」にしていきたいと思っています。(鈴木)

「いやだと思っても、口にしちゃおしまいよ」昭和一けた生まれの姑。そんなことしてると愚痴が増えるだけなのに……と革新派の嫁の私。でも、心の中は古風でウエツトな浪花節がまだら模様に残っている。べつたりとみんな一緒のやり方は、そうそろそろ卒業したいのだけれど、率直でいてあつたかい関係って、作れないものだろうか。アゼリアを通して、風通しがいい新しい人と人とのつながりを、頭と気持ちの両方に悩みつづけていきたいと思っています。(時田)

ジェンダーを考える

「人は女に生まれぬ。女になるのだ。」という文に出会ったのは十代。「女の子らしくしなさい」という言葉に反発しつつも、男の子によく思われたいと一所懸命。女の子にしていた高校生のはずです。女性学の検証が進み、ジェンダーが作られたものであることが明らかになってきました。人が作られたものなら、必ず変えることができるはず。女性政策の担当者として、今、改めて、ポウヴォワールを思っています。

女性政策課長 千葉

アゼリア12号

発行/東京都北区総務部女性政策課

☎3908-1111(内)2221・2222

企画・編集/アゼリア編集委員会

区民編集委員

小田原淑子・醍醐麗子

田島加代子・笹江順子

森下えつ子・時田靖子

鈴木れい子

写真/小田原淑子・木村弘好

制作協力/鯨吼社